



令和5年度 兵庫県立大学 生涯学習公開講座

看護教員・指導者のための『災害看護教育』講座

～何を、どのように教えるか～

日 時:令和5年10月21日(土) 10:00~17:00

受講者数:18名

会 場:兵庫県立大学地域ケア開発研究所 3階演習室

講 師:増野園恵(地域ケア開発研究所所長・教授) 林知里(地域ケア開発研究所教授)
本田順子(地域ケア開発研究所教授)

○テーマ・概要

看護教育者・教育的立場にある看護職を対象とし、近年、看護教育でも関心の高まっている「コンピテンシー基盤型教育」と「シミュレーション・ラーニング」を踏まえた災害時に行動できる看護職を目指した災害看護教育について学ぶ。

○内 容

1. 「コンピテンシーを基盤とした教育プログラムの考え方と教授設計」と「災害看護コンピテンシー」の講義を通して、災害看護のコンピテンシーに基づいた教育・研修の要点を理解することができ、その後、参加者は実際に自ら研修・教育プログラムの計画を立てる演習に参加し、教授設計を体験することができた。さらに、参加者とのディスカッションを通して、自ら研修・教育プログラムの計画をブラッシュアップする機会を得ることができた。

2. 「シミュレーションを用いた災害看護教育設計のヒント」の講義を受講した後、2つのグループにわかれて、「大規模災害発生時の病院におけるチーム対応」に関するシミュレーションを体験した。シミュレーション演習は、災害看護を教える際のシミュレーションの活用についてイメージできることを目標に、指導者役と受講生(学生)役を設定し、災害時医療の原則(GSCA-TTT)に基づいた大規模災害発生時の病院でのチーム対応についてシナリオを用いて実施した。参加者は、チーム内の役割分担の設定、患者のトリアージ、患者の搬送までの一連の流れを経験し、その後のディブリーフィングでは、災害状況下における効果的なコミュニケーションのポイント、災害状況下におけるチームワークのポイントなどを確認した。

1、2を通して、災害看護のコンピテンシーを基盤にした教育・研修の内容や方法を理解できた。